

【樹木・草花の部屋】

シデコブシ（モクレン科/モクレン属 *Magnolia stellata*）

和名；シデコブシ(幣辛夷) **別名**；ヒメコブシ **英名**；Star Magnolia

ムクロジ目 落葉小高木

原産地；日本 **花言葉**；友愛、歓迎、友情 **花の色**；白、桃



← 写真－1 シデコブシの樹形

撮影日：2013年4月7日

撮影場所：京都市熊野若王子神社にて

撮影者：Mさん

南禅寺の近く、哲学の道の終わり(始まり?)の若王子橋を渡ったところにある熊野若王子神社の境内で見つけました。境内で昼食中、誰かが、シデコブシが咲いていると……。曇天の中でしたが、可憐に咲いていました。

コブシはよく見かけますが、シデコブシをジックリ観察したのは初めて。

シデコブシは本州中部の東海地方を中心とした限られた範囲に分布する日本の固有種だそうです。自生種は非常に珍しい樹木だそうです。

写真－2 シデコブシの花 ⇒

撮影日：2013年4月7日

撮影場所：京都市熊野若王子神社にて

撮影者：Mさん



和名は花の形が四手（しで）に似たコブシのような花を付けることに由来。花は直径 10cm ほどで、白色から薄く紅色を帯びるものまで変異があるそうです。系統的には、コブシとタムシバの交雑によって生じたものと考えられ、コブシは

やや冷涼な地の谷沿い、タムシバはこれより温暖な地の尾根などの乾燥地に生育する種で、シデコブシの誕生には、生育環境の異なった両種が近接して生育している環境が必要であったものと考えられているようです。

<ちょっと一言>

希少価値のシデコブシ

岐阜県、愛知県、三重県のごく限られた地域の低地・低湿地にしか自生していなそうです。つまり、地球上ではこの地域にしか生育していないということだそうです(ただし、自生種)。しかも、現在は三重県では現状不明の状態だそうです。愛知県、岐阜県、三重県の一部が該

【樹木・草花の部屋】

当する、大昔の東海湖の沿岸地帯とシデコブシの分布域がほぼ一致しているそうです。自生個体群は準絶滅危惧種に指定されているそうです。

シデコブシが生まれた環境を考えると、言わば太古の生き残り？は大袈裟でしょうか？ なにか、神秘的でメタセコイヤを思い出します。

希少価値のシデコブシ……。不思議なことに当神社に関する紹介記事をネットで調べてみましたが、ご神木の「榎の木」の紹介はありましたがシデコブシは全く紹介されていません。熊野若王子神社のシデコブシは自生ではなく、移植されたものだからかも……。それにしても？……。ちなみに、園芸用の苗木などが市販されていて、庭木や公園樹として見かけることもあるそうです(若王子神社もこの流れかも・・・?)。